



筑後川花火大会



高牟禮祝山車

ウォーターイルミネーションに子どもたちは大盛り上がり



有馬火消しのはしご乗り



グランプリの「くるめ悠楽流」の皆さん



万人のそろばん総踊りでは、明治通りを踊り連が埋め尽くしました

本気の夏 到来



伝統的なそろばん踊り



ちょうちんに照らされながら踊りまくり



水の祭典久留米まつり



パレードに参加するカザフスタン大使とケニア公使



小さな子も沿道から応援



祭り三役や久留米ふるさと特別大使の田中麗奈さんがテープカット



明治通りが熱気に包まれ
8月4日、13時。夏の風物詩「水の祭典久留米まつり」が開幕しました。前日に全国一位の猛暑を記録。この日も猛烈な日差しが照りつけます。パレードでは、幼稚園のマーチングバンドや高校の吹奏楽部など44団体が、噴き出す汗もそのままに祭りを盛り上げました。東京五輪・パラリンピックの事前キャンプを久留米で行うカザフスタンの大使とケニアの公使もパレードに参加しました。

ターゲットしました。89の踊り連が思い思いの衣装で、約2時間踊り続けました。グランプリに輝いたのは、「くるめ悠楽流」。代表の香月美由紀さん(善導寺町)は「7年前、初出場でフレッシュユで賞をいただいた年も日曜開催でした。今年はグランプリを狙いました。取れて良かったです」と喜びを表しました。

日が傾き始めた17時から、20団体による熱のこもった太鼓響演会。そして19時。いよいよ「万人のそろばん総踊り」がス

40万人が見上げた大輪
5日に開かれた筑後川花火大会には約40万人が来場。次々と上がる早打ちや腹に響く一尺玉の音と光に歓声を上げました。
◎観光・国際課 ☎0942・30・9137、FAX 0942・30・9707



久留米青年会議所による久留米九千坊